

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	緑berry		公表日		2025年3月30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	1	・特定の利用者様を外遊びなどしている。 ・活動によって別々に過ごせるスペースを確保されている	・活動内容によって室内を分けるなどの配慮していく
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	1	職員間で声を掛け合っている。	・マンパワー不足にならないように体調など気を付ける
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	3		・可能であればトイレをもう少し広いスペースにするべきではないか。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0	・わかりやすいように配置を考えている。	・すぐにごちゃごちゃになりやすいのでお互いに気を付ける
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	2	2階相談室を使用することが出来る	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	2	ミーティングや申し送りで目標設定(支援方法・心掛け)を話し適宜振り返りを行っている	振り返りの時間の確保に力を入れていく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1		評価表を把握する機会を設ける必要がある。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	・ミーティングで意見交換を行っている ・週1回行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6		繋げたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	1	・施設内研修は月に1回行っている。 ・本社からの研修を月に1回行っている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	共有しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0		支援会議の回数を増やしたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1		検討会議の回数が少ないので工夫をする
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	2	共有しています。	計画案を見てもらう様に声を掛けていく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	5		標準化されたツールの作成を検討していく
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」支援内容設定している	職員の共有
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1	月間カレンダーを作成し進めている	意見や要望などがもっと出ると良いと思う
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	5領域を意識したプログラムを実施。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	子どもの状況に合わせて支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	毎朝行っている	休校日の朝などに時間が取れないことがある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	5	・打ち合せという形ではないが雑談の中で話をしたり責任者に報告したりしている。 ・翌日にしている	時間を工夫することが必要
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	3	専門記録を取っている。	支援会議の回数を増やす。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	2	利用者様に1日1回の声掛けをする実践を行い毎朝の振り返りで共有している。	振り返りの時間の確保
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	児発管が参加をしている。	児発管より担当者会議の報告が出来る時間を工夫したい
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	5	学校や保育園は連携が出来ている	主治医には中々難しい
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	1	相談員を通して会議が開催され情報の共有をしている	時間の都合が合わないことがある
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	2		今後していくように相談員や関係機関と共有していく
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	2	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	6	行っていない	行えたら嬉しい
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	5	公園で遊んでいる時に地域の子供と関わっている。	地域の親御さんに理解をして頂く機会があるといいと思う
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	連絡帳やメール・電話などで共有し理解をしている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	5	連絡帳でお伝え出来る時もある	今後研修などに参加をしていきたい	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	その都度説明をしている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	保護者様のご意見や想いは常にお聞きするようにしている。	電話やメールが多いので対面の時間を増やしたい
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0	送迎中にすることが多い	ゆっくり説明する時間を設けたい
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	電話やメール、面談にて実施	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	4	以前は保護者会を実施している	コロナ禍で出来ていなかった ので近日中に実施したい
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	ご連絡があれば迅速に対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11	0	月に1回は施設からお便りを発行している。 会社のブログにもアップしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0	鍵のかかるキャビネットに保管している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	お伝えするときなど配慮している。	誰でも配慮出来る言葉の選び方が 出来るが良い
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7	出来ていない	学童さん・他施設などと出来るような 取り組みがあると良い
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	1	出来ていない	マニュアル作成し周知をして訓練が 出来るようにしていきたい
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	策定は出来ている	策定したら周知をして 訓練出来るようにしていきたい
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12	0	連絡帳や電話などで保護者様より 伝えて頂いている。	てんかん発作時の訓練をしたい
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	3	検査結果のコピーの提出をお願いしている	検査結果のコピーの提出をお願いしている
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	毎朝のミーティングの際に危険な場所・時間を 共有している	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0	休校日などは行く場所をお伝えしている	安全確保計画の作成の検討をする
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	週に1回職員ミーティングを行いヒヤリハット 事故報告・抑制記録を共有している	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	施設内での研修机上での研修は行っている	外部の研修に行く手配をしたい	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	1	支援計画に記載している。		